

2025 年は、国際協同組合年です。



◆「国際協同組合年」って？

国際年は、国連が「一年間を通じて、平和と安全、開発、人権/人道の問題など、テーマを設定し、国際社会の関心の喚起と取り組みを促すため」に制定しています。

国連は、総会で、「協同組合を振興促進し、持続可能な開発目標の実施と社会・経済開発全体に対する協同組合の貢献に対する認知を高める方法として、『国際協同組合年』を定めること」を議決しました。協同組合の人間らしい雇用の創出、貧困と飢餓の解消、教育、社会的保護、金融包摂、手頃な価格の住宅、包摂的な社会の構築などへの貢献を協同組合に求めています。

◆「協同組合(生協)」の誕生

協同組合(生協)誕生：1844 年、イギリスマンチェスター郊外のロッチデール

組織の名称：ロッチデール公正開拓者組合 設立者：28 名（繊維工など）

出資金：一人 1 ポンド（当時の労働者の 3 週間分の賃金）

内 容：小売業 商品：小麦粉、バター、オートミール

*混ぜ物やごまかしのない商品を労働者自らが利用できるようにしました。

運 営：組合員による民主的な運営（男女平等、一人 1 票制）

ー時代背景ー

1760 年代、イギリスで産業革命が始まります。資本家と労働者の階級格差が生まれ、低賃金、長時間労働、劣悪な居住環境、児童労働、混ぜ物が横行する粗悪な食品を買わざるを得ない状況や都市のスラム化がすすみます。その中、社会思想家たち、なかでもロバートオーエンなどが資本主義経済のあり方に警鐘をならし、「協同」の理念を提唱し協同組合づくりが始まります。



◆今、世界の生活協同組合では

<イギリスのコープグループ>

2035 年までに事業から排出される温室効果ガスをゼロにする取り組みを進めています。

<イタリアの生協>

国境なき医師団の支援要請を受けて、ガザ地区の医療施設での活動を支援するための募金を始めました。また、「生協は難民のために」キャンペーンを行っています。

<スイスミグロ>

語学スクールを開催し、スイスに移転や移住をしてきた人に、地域での円滑なコミュニケーションを図れるように、現地語の取得や文化のつながりづくりを行っています。

<シンガポール、フェアプライス生協>

建国 60 年を記念し、生活困窮世帯に食品を配布する「食べ物の分かちあい」に取り組んでいます。

<コープスイス>

食料品 1,000 品目以上の価格を引き下げて、家庭の経済的負担の軽減を目指しています。

<コープノルウェー>

プラスチック製のショッピングバックの使用削減に取り組んでいます。

世界中のいろんな生協が、消費者や地域、地球のために様々な取り組みを行っています。

